

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあぼけっと高松香西教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基準人員に職員配置がされていること。	基準の人員配置を正しく行っています。職員の募集を常にしています。働きやすい環境を作ることを意識しています。	左記の事を継続して行うとともに、さらに充実させていきたいと思えます。
2	研修を積極的に受けて専門的知識を得て療育を行っていること。	アセスメントを基に、お子様にあったプログラムを用意しております。	お子様に合った新しいトレーニングの開発をこれからも積極的に行っていきます。
3	新しく通っていただいているお子様が多いこと。	個別での支援を行っているのでお子様に注目して適切な支援を行っています。	職員の知識をつけることでよりよい支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の様子をみていただけていないこと	療育中の様子を保護者様に見てもらおうと、お子様の集中力が途切れる可能性がある為、現状は見ていただけないようになっています。	2・3か月に1回程度で(希望者のみ)療育中の様子を見ていただいても良いことやカメラの設置をしていますので、希望があれば見て頂けます。
2	きょうだい支援、家族支援が不十分なところ。	きょうだい支援に関しましてはそもそもきょうだい向けのイベント開催を行っていませんし、認知していなかったこともあるかもしれません。	希望があれば必要に応じてイベント交流の場を設けていけたらいいなと思っております。
3	相談する体制の整備や相談時の対応について	利用児童が徐々に多くなってきたため保護者ひとりひとり相談できる時間の確保や他の業務に時間を取られ迅速に対応できていないかもしれません。	急な相談事や返答内容が即答できないことがあるかもしれませんので、事前にお声掛け頂けるように周知します。また相談事についても迅速に対応できるように職員全員でスピード感をもって行っています。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たらびあぼけっと高松香西教室

公表日 2024 年 12 月 20日

利用児童数 令和6 年 11 月 30 日 回収数 15

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	令和6年 12月 20日	13	1		1	スペース自体は十分に確保されていると思う。小さいお子様が多く走り回っているとぶつかりそうになることがあります。	お子様同士の接触による事故が起きない様、トランポリン等の大型遊具は場面毎に一時撤去する等配慮し、一人当たりの十分なスペースを確保して参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	職員さんの人数は充分で、皆で声掛けをして頂いています。	職員の配置数は十分確保できている。専門性を高められるよう研修の機会を設けています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1	絵などを見て分かるように工夫して頂いています。玄関からバリアフリーの構造になっています。	視覚的にとらえるように絵を差し示した配慮を行っています。床はフローリングで段差のないバリアフリーに対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				いつも清潔感がある。常に清潔に下さっていると思います。楽しく過ごせる空間だと思います。	一日の終わりには清掃時にトイレ、ドアノブ、棚、床、机、洗面台、蛇口、電話等、手が触れる所全て消毒しております。
適切 な 支 援 の 場	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			1	トイレに絵が貼ってあり、分かりやすい環境にして頂いていると思います。	毎日終了時に、職員でその日の療育の報告を行い子供の特性や様子を聞いて改善できる所はして努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		1	行われていると思います。本人のその時の気分や体調状況をよく見て無理なく行われています。	毎回の療育は個別支援計画書に沿った内容になるようにプログラムを立てて支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1			支援計画はニーズに合ったものが作成されていると思います。しっかり聞き取って作成されていると思います。	体験時にアセスメントを行い、子供の特性を見極め保護者様のニーズに合わせて個別支援計画書を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		2	保護者と話をし聞き取って具体的な支援内容を立ててくれています。必要な支援を選択して頂いていると思います。	第一期は新しい環境や指導員に慣れることを大切に、それ以降は更新次期にモニタリングを行い、保護者様のニーズを聞き取り、お子様の現状、実態に即した決定になるよう計画を立てています。

児 供	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1	行われていると思います。計画に沿った支援が行われています。	個別支援計画に沿った内容になるようにプログラムを立てて支援を行っています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			2	色々な内容を用意して頂き飽きることなく毎日楽しんでいます。毎回違うものを提供して工夫されています。	課題は同じでも内容を工夫し変化を持たせており固定化しないよう努力しております。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	3	9	園生活の問題を共有したり、事業所での声掛けを園に伝えたりしています。今の所ないが本人が幼稚園に通っているのだから必要がない。	現在は行っておりませんが、必要に応じて実施を検討して参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1			入所の際に丁寧に説明して頂きました。丁寧な説明がありました。	契約時に社長が説明を行っております。引き続き継続して参ります。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1			しっかり説明されており問題ないです。ちゃんと説明がありました。	ご利用日までに保護者様に個別支援計画を提示して、ご説明させて頂き署名に頂いております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15					家でのアドバイスを具体例を出して教えてくださいます。十分な対応をさせて頂いています。	ご相談を受けた時や会話の中でアドバイスをさせて頂くことがあります。ペアレントトレーニングとして確率されているものではありません。今後徐々に導入していけるよう検討して参ります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				1	フィードバックの時に話すことができ今できないこと希望することなど、療育に反映させてやって頂けてとても感謝しています。	フィードバック時に、本日の出来事を具体的にお伝えしております。保護者様との信頼関係を深めていけるよう努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					悩みを相談すると時間を必ず作って聞いて下さい。小さいことでも報告してくれて保護者と共有してくれる。	フィードバック時にお悩み等があれば伺っております。必要に応じて助言、支援を行っております。引き続き継続して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					保護者の心情等を自分自身のことのように他者のことを理解しようと、冷静な視点や姿勢で支援をして頂いています。	相手の立場に立って気持ちを理解しようとする態度や冷静な視点や姿勢で支援を行っております。相手の話を聴く、相手の感情(悲しかった・嬉しかったなど)を伝え返す、相手の話を自分の話に置き換えないようにする、相手が話してくれたことに対して良い気持ちを持つ。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		5	9		しっかり行っていただいています。困った時、悩んだ時にすぐ相談でき、的確なアドバイスをいつもいただいています。保護者同士の交流はない。特に必要を感じていない。父母の会はないが現状困っていないのでなくていいと思います。	現状では開催しておりませんが、今後保護者様からのご要望次第で実施、検討して参ります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				2	希望を伝えると次の療育時に取り入れて速やかな対応をとってくださる。悩みや相談事は迅速な対応を行っている。	フィードバック時に本日の出来事を具体的にしてお伝えしております。なるべく対話を大切に保護者様と信頼関係を深めていけるよう努めてまいります。	

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			ノートと口頭で伝達できている。フィードバック時に情報共有できている。	フィードバック時は必ず個室で行うようにし、個人情報と同じクールの保護者様に伝わらないように配慮しております。これからも引き続き継続して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	4	ホームページを開設しており、問題はないと思います。	公表は今回が初めてとなります。今後結果を基に支援の質の向上に務め、改善内容を毎回公開して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	1		きちんと配慮されています。しっかりできています。十分注意されています。	ご利用者の個人情報の取り扱いには十分に気を付けております。個人情報には様々なケースがある為、今後研修等も行っていく予定です。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	1	6	入所の際に説明してくれたり、きちんとしたマニュアルが整備されており、周知、説明も十分できていると思う。	職員と利用児童での避難訓練は実施しております。今後消防署で実施している救急対応訓練や救命救急の研修等にも積極的に参加していきたいと考えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			12	入所時に説明を受け、定期的に訓練がされている。	半年に一度は実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	3		2	事業者等の設備等（備品遊具・防火設備・避難経路等）を定期的に文書として記録している①安全点検②児童保護者への安全指導等③実践的な訓練や研修の実施④再発防止の徹底など説明を受けています。	衝動的に建物から出てしまう子供等もいる為、子供の特性を理解した上で、必要な安全の確保を行うことが必要である。毎日点検し必要な補修等を行い危険を排除することが必要。活動場面によって注意すべき事項が異なるため、職員は活動場所や内容等に留意した事故の発生防止に取り組むことなど留意して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			4	転倒などの打撲がありました。その時の保護者に対して今後の対策を含め、説明を受けました。	①状況に応じて主治医又は協力医に連絡又は119番に通報する。②保護者に連絡する。③必要に応じて他の職員に状況を説明し落ち着かせる。④管理者・社長・児発管に連絡し対応を協議する。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14			1	興味を否定せず尊重して下さっているので子供は、職員が大好きで駆け寄っている姿を見ます。	楽しく通って頂いているお子様が多いこと、職員の知識をつけることで、よりよい支援につなげていきたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				毎回通うのを楽しみにしている。笑顔で通っていてとても成長を感じています。	楽しみにして通って頂いているお子様が多いです。今後も楽しんで通って頂けるように工夫していきたいと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				できる事が増え、言葉が増え、感謝している。大満足。	現状に甘んじることなく今以上に満足度を上げていけるように努力していきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		てらびあぼけつと高松香西教室		公表日		2024 年 12 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数に合った規模の部屋を利用している。	利用人数が多い時は大部屋を仕切ったり個室を前半と後半で使用するなど柔軟に対応している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童発達支援管理責任者、保育士の配置に加え、人員配置基準を上回る人員を配置している。	この配置数で継続できるよう努めていく。児童の安全や支援の質を保障するため常に国の基準以上の職員を配置している。	
	3	令和6年 12月 20日	5		人数が増えると同じ部屋を多数の児童が入れ替わりながら使用していきます。発達段階や特性に応じてできる範囲の工夫を行っている。	児童にとってわかりやすい環境を作る工夫を行っている。部分的な工夫にとどまっている所があるので施設全体の環境作りに広げていくことが課題である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	こまめに消毒・清掃をしている。季節に合わせた装飾をしている。	建物の限界はあるが、できるだけ快適に過ごせる工夫をしている。コロナ禍で消毒・清掃を徹底したことにより、以前より清潔を保ちたいという機運は高まっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		いつでも使用できる状態になっている。	左記の内容でこれからも継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	時間的に話し合いの参加が難しいパートタイムの職員にはその都度すり合わせを行っている。日々の申し送り、ミーティングを行っている。	改善に関する意見はたくさん出るがそれを全体で共有したり、具体的な目標を立ててやりきる力はまだ弱い。業務上の話し合いに使える時間は限られているので、現実的に実行可能な仕組み作りが急務である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	まだ施設が1年目ですが、毎年実施する予定です。	保護者からの要望等の聞き取りに力を入れ、業務改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	朝礼、終礼にてその日に行った内容や気づいたこと等を言い合って業務改善につなげて行きます。	左記の内容でこれからも継続していく。	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	まだ施設開所から1年経っていない為、外部評価を行っていません。今後行っていく予定です。	左記の内容でこれからも継続していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		てらびあぼけっとを運営する会社主催の研修、外部の研修を問わず案内し、受講を勧めている。	知識を得るだけでなく、自身の業務を振り返ったり深めたりする機会を作ることが必要である。業務時間外に自主的に学んでいる職員も多い。それも含め個人の研修計画を立てたり仕事に活かせるようにしたりすることが必要である。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	適切に支援プログラムが作成、公表している。	左記の内容でこれからも継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメント用紙に沿って適切に行っている	発達段階や状況に応じたものを作成している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	朝礼・終礼で行っている。	左記の内容でこれからも継続していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	3	行われている。職員間で情報共有しながら今後の支援内容の形や課題について丁寧に向き合って支援を行っています。	左記の内容でこれからも継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	使用できている。	計画書に沿って判断している。確認できている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個々に応じた支援内容を記載するよう努めている。	児童発達支援管理責任者と職員が話し合いを行い、計画書を充実させる為の検討を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	プログラム立案を共有している。	左記の内容でこれからも継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		一緒にならないよう様々な職員から意見を取り入れ、新しい遊びなどに挑戦できている	より多様なニーズに応じられるよう活動内容の選択肢を広げていきたい。



	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		グループ療育（小集団）と個別での療育の機会を設けており、個々に合わせて実施している。	アセスメントを適切に行っている。左記の内容を継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	小集団療育の前には、打ち合わせの時間を時々設定している。	事前の打ち合わせと事後の振り返りは大切なので、確実に時間が取れるようスケジュールを見直したり改善していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		小集団療育の後には、振り返りの時間を時々設定している。	事前の打ち合わせと事後の振り返りは大切なので、確実に時間が取れるようスケジュールを見直したり改善していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	療育内容・記録は必ず確認している。全員が記録に目を通しておくように声をかけあっている。	左記の内容でこれからも継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度モニタリングを行い支援計画の見直しを行っています。支援の課題や振替を検討し計画の見直しを行っている。	左記の内容でこれからも継続していく。
関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		サービス担当者会議には、児童発達支援管理者又は子供の状況に精通した最もふさわしい職員が参画しています。	左記の内容でこれからも継続していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		基本的に情報共有と理解に努めている。	園の先生が様子を見に来たり、連携用紙に記載したり、希望がある限り相互理解を図っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	引継ぎ資料を作成し郵送していきたい。	学校と直接話し合いをしている例はまだないが、環境が大きく変わるタイミングなので支援をつなぐ方法を引き続き検討していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	まだこれからなので、積極的に情報提供を行ってきたい。	まだこれからなので、積極的に情報提供を行ってきたい。
		(28～30は、センターのみ回答)				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)		1	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	交流の場は開いていませんが、幼稚園やこども園等一緒に遊ぶことが頻繁にある。	保育所、こども園、幼稚園と併行通園している児童がほとんどなので交流機会を作る事はしていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎日、送迎時には利用の様子を伝え、お家での様子を聞いて情報を共有している。また課題の見直しなども行っている。	左記の内容でこれからも継続していく。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		家族支援は月4回は、最低実施しています。お悩みがあれば聞いて情報提供をおこなっている。	保護者が参加しやすい研修を案内して、学ぶ機会を保証したり充実を図る。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に運営規定、利用者負担等について丁寧に説明を行っている。	左記の内容でこれからも継続していく。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		管理者を中心に迅速に対応、お聞き取りシートを活用し家族の意向を定期的に確認をとり、お話の機会を設ける。	左記の内容でこれからも継続していく。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		作成した支援計画を面談などで説明し、同意を得ています。	左記の内容でこれからも継続していく。		



保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談に対してこちらで行える支援や助言を送迎時や家族支援などの場を設けて行っています。	左記の内容でこれからも継続していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	今はコロナ渦で行っていないが今後は少しずつ家族同士の交流の場を設けていきたい。	左記の内容でこれからも継続していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		管理者を中心に迅速に対応、相談や申し入れに対してこちらで行える支援や助言は迅速かつ適切に対応している。	左記の内容でこれからも継続していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	毎日の連絡帳の作成、HPのブログの更新やインスタグラム、月刊紙の配布など行っている。	左記の内容でこれからも継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	契約時に個人情報使用同意書をもらっている。事前にHPや会報等に子供又は保護者の写真等を掲載するに当たり同意を得られない子供や保護者がいた場合は掲載しない。	左記の内容でこれからも継続していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	絵カードを使って、視覚支援を取り入れながら意思の疎通に計っています。又その内容も保護者様に伝えています。	左記の内容でこれからも継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	事業所内だけでの活動になっている。地域の方も参加して頂ける企画を計画中。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルの確認を全職員で行っている。また確認した際はサインを残している。	各マニュアル集を全職員に周知を徹底する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回の避難訓練を実施、振り返りを行い改善に努めています。	避難訓練を実施する時に保護者へ通知する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		確認している。以下の場合には5分待たず救急車を呼ぶ。	左記の内容で継続していく。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	現段階では該当児がいないが必要時には、きちんと対応していきたいと思います。	対象となる利用児童がいれば医師の指示書も含めて検討していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に研修や訓練を行い、年度ごとなど定期的に安全計画を見直しなど積極的に行い、安全計画を活かして行っている。	左記の内容で継続していく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		保護者に対して、安全計画及び事業所等が行う安全に関する取組内容を説明・共有また児童の安全の確保に関して保護者との円滑な連携が図られるよう安全計画及び事業所等が行う安全に関する取組の内容について公表しています。	やむを得ず行動制限を行う時は、行動制限が必要となる状況、行動制限の態様、時間等について子供や保護者に事前に十分に説明をし同意を得たうえで計画書に記載し、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由等、必要事項経過記録に記載する予定。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		必ず作成し同じことが起こらないようにしっかり情報を共有している。	左記の内容で継続していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修を定期的に行い、防止に努めています。	左記の内容で継続していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		今までやむを得ず、身体拘束をする児童がいないため経験としてはないが、今後あるとすればしっかりと保護者と連絡を取り合っていこうと思います。	左記の内容で継続していく。